

大正浪漫薫る非日常の世界

旅館花屋

滝澤夏菜



目次

- 一、業務内容
- 二、強み・アピールポイント
- 三、歴史
- 四、ビジネス領域
- 五、差別化
- 六、大切にしていること
- 七、社員の様子
- 八、今後について
- 九、採用情報



業務内容



フロントサービス

接客業務、お客様対応業務全般
チェックイン・アウト、お見送り
給仕（料理の配膳・下膳）



調理

和食調理業務全般
仕込み、器出し及び盛り付け

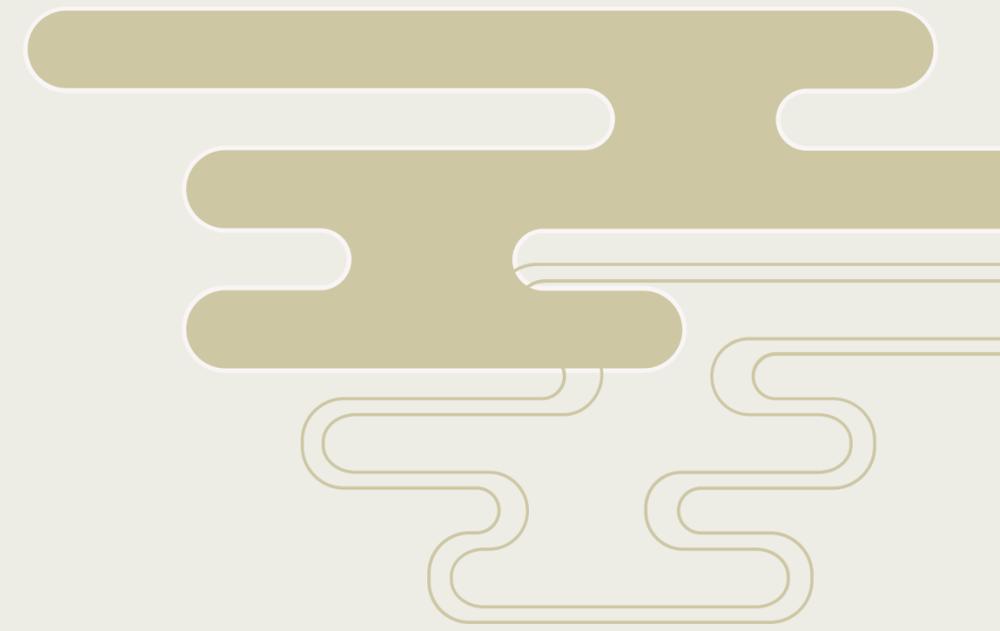


清掃

清掃業務全般
客室、廊下、階段、お手洗い
更衣室など

強みと
アピールポイント

- 一、建物
- 二、人材
- 三、温泉
- 四、料理





一、建物

大正六年創業

大正ロマン溢れる木造建築と回廊庭園
文化庁登録有形文化財指定の温泉宿
日本で唯一「武家屋敷」に泊まれる宿

日本で唯一無二
武家屋敷に宿泊できるお部屋



上田藩の武家屋敷を再現

貴賓室「桜御殿」



露天風呂

100%源泉かけ流しの天然温泉で
ゆっくり身体を休める

座敷

床の間と二つの書院がある





本館 THE MAIN

ゆったり過ごせる洋室



特別室

100%源泉かけ流し
天然温泉露天風呂付き



本館

日本の美とともに歴史的な雰囲気を楽しめる



離れ

100%源泉かけ流し天然温泉内湯付き



白熱灯の明かりで琥珀色の世界を表現

歴史的な建物を繋ぐ渡り廊下



積極的に行動でき、伸びしろがある人が多い



従業員は十代～七十代
中でも若い世代が豊富



社員教育も充実している

二、人材



三、温泉

露天風呂

女湯



男湯



100%源泉かけ流し天然温泉
硫黄がほのかに香る



大理石風呂



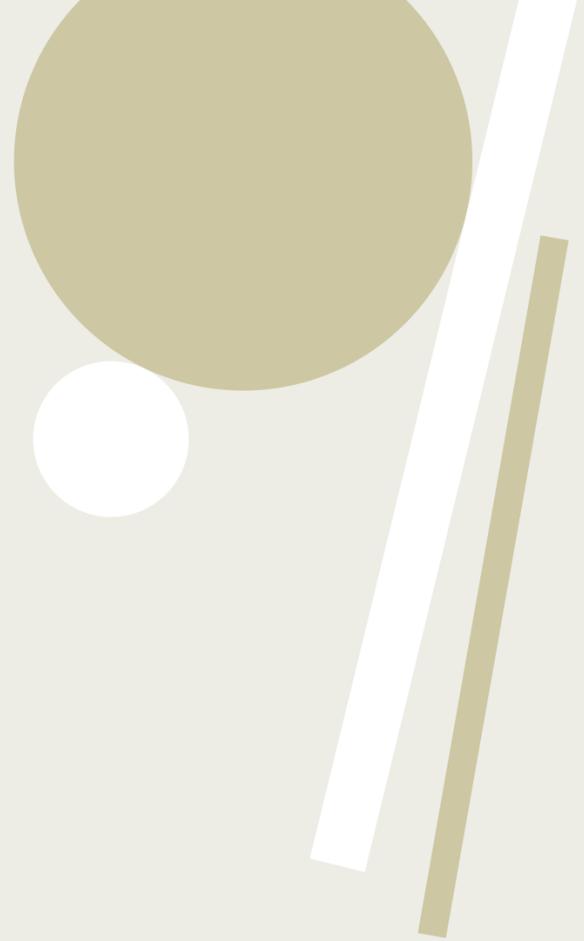
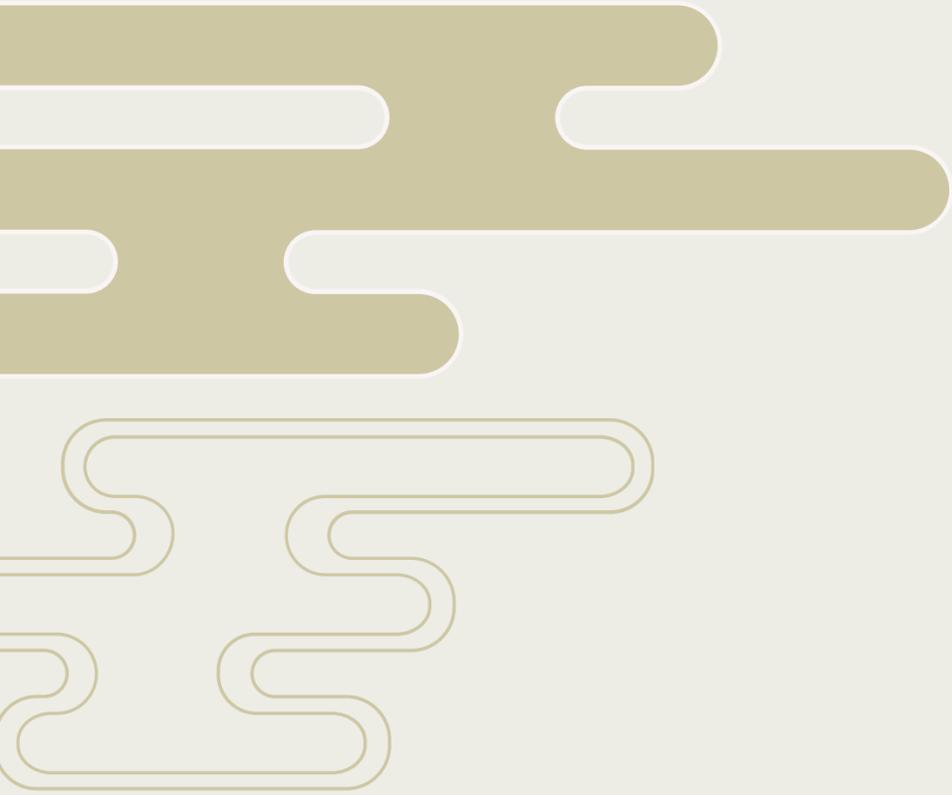
若草風呂



走り・旬・名残り
料理を食べながら四季が楽しめる

四、料理

手作りで心のこもった会席料理



歷史



一九一七年
(大正6年)

県初

旅館業の株式会社設立

一九六一年
(昭和36年)

株式会社花屋ホテルに改名

二〇〇六年
(平成18年)

文化庁登録有形文化財に指定

二〇一七年
(平成29年)

武家屋敷

貴賓室「桜御殿」完成

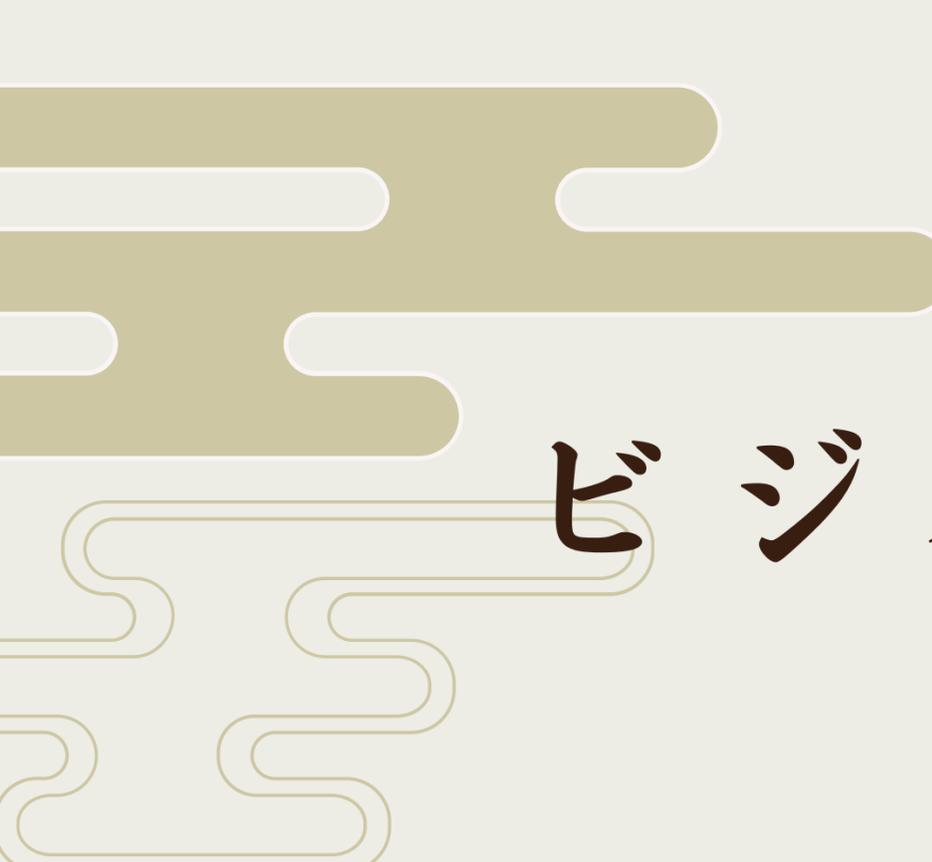
二〇二三年
(令和5年)

「本館「HEM MANIN」完成

建て替えの話が出たが、

当時の技術で建てたものを壊したら、

二度と復元できないという思いでそのままに



ビジネス領域

地域と一緒に生きていく
旅館業





差別化

社長の言葉「どこにでもあるような旅館にするな」

比較対象がなく、花屋を一番に選んでくれる人が出るような経営

オリジナリティを重視

他と同じことをしない、花屋独自の文化を大切にする



大切にしていること



大切にしていること

旅館花屋のモットー 「チームみんなで結果を取りに行く」

- ・一人ではなく、従業員全体で物事に取り組むこと。
→従業員全員でやることでできることが増える。

今働いている人が「花屋」という存在

- ・「花屋」の文化の承継が常に意識できるように
従業員の目に見えるところに貼ってある。

「花屋」という旅館文化を承継するために 意識していること

1. 流行に乗らず、独自路線をいく
2. インバウンドを求めず、日本のお客様をターゲットにする
3. 判断の基準を相手に委ねない
4. 花屋がいいといただくお客様を大事にする
5. 大正ロマン漂う非日常の世界を感じてもらうために、
館内の雰囲気や普段の振る舞いからも非日常を醸し出す



大正ロマン漂う非日常の世界

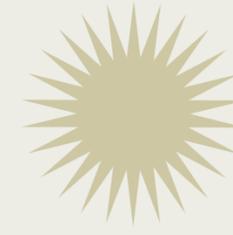




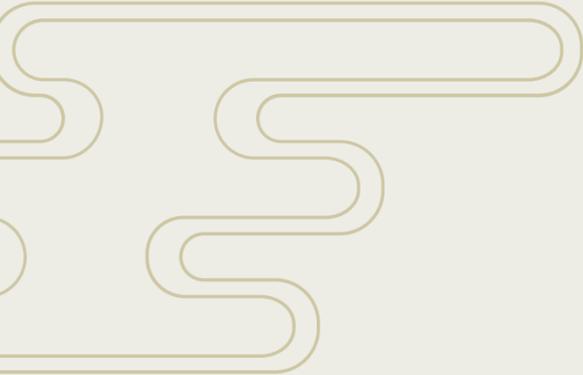
社員の様子



職場の雰囲気



- 人をととても大切にしている会社
- 他人への思いやりが深い
- 問題を共有して、全員で支えあいながら働いている



社員が花屋を選んだ理由

- 花屋の建物や中庭からの景色などに魅力を感じ、最初から花屋が好きな人
 - サービス業を仕事にしたかった人
- 

今後について



- ハード面(建物)、ソフト面(人材)、財務と将来性で日本一となりたい
- 今まで100年以上続いてきた花屋独自のスタイルが、今後更に100年以上存続していくための礎を現在の従業員全員で築いていきたい
- ダウンサイジングしても、利益を出す→小さくして高く売る
- 部屋数を減らして、労働効率向上や働きやすい環境を目指す
- 従業員もお客様にも満足してもらえるようにする



採用情報



求める人材



自分が旅館で何をしたいのかが
はっきりしている人



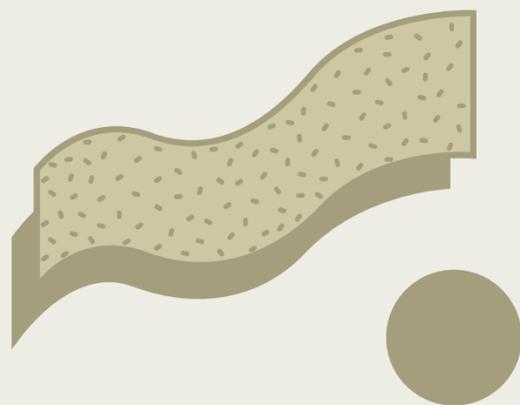
明確な理由がある人



明るく、笑顔で素直な人



将来の自分の姿を想像できている人



取材や記事作成を通しての感想



強みやアピールポイントに加えて、大切にしていることや意識していることなどより深い部分も知ることができたため、花屋さんが魅力で溢れている旅館であると再認識できて良かった。

お客様も従業員も大切にしている旅館だからこそ、花屋独自のスタイルが今まで100年以上も続いており、継承されているのだと思った。

企業さんともまめに連絡を取り合い、要望を記事の中に取り込むことで、より企業の魅力が伝わる素敵な記事作成に繋がるのだと思った。